

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。



市立長浜病院 がんゲノム診療科  
小室 太郎

**がんゲノム医療―新たな次元に入ったがんの薬剤治療について―**

がんが発生する過程では、遺伝子変異によって細胞が異常な増殖を起こすことがあります。「がんゲノム医療」では、こういった「がん遺伝子」の変異に対処して、がんを治療します。がん治療にあたっては、この治療と従来のがん細胞にダメージを加える治療を組み合わせることで、有効性が高まります。

10年ほど前から、異常のあるがん遺伝子をいくつか選んで検査する方法が始まりました。さらに近年では、新たに「がん遺伝子パネル検査」という方法で調べることができるようにもなりました。これは、300を超えがん遺伝子を一度に調べる方法で、①治療薬の確立したがん遺伝子変異、②治療レベルで有効性が知られた薬剤のあるがん遺伝子変異、③今後有効な薬剤を見つけられる可

能性がありそうながん遺伝子変異を知ることができます。つまり、「がん遺伝子パネル検査」によって、それぞれのがん遺伝子変異に有効な薬剤を、調べるができるようになったのです。この検査結果を、京都大学医学部附属病院腫瘍内科などとの合同検討会にかけ、そこで治療薬の提案がなされます。当院は令和5年11月に「がんゲノム医療連携病院」に承認され、「がんゲノム診療外来」で「がん遺伝子パネル検査」ができるようになりました。

「がん遺伝子パネル検査」では、治療薬の提案ができると同時に、患者さんその血縁者にも関わる遺伝子的特徴が分かることがあります。それは、将来の病気について適正な管理方法を知ることができるとも言えます。これについては当院の「遺伝子診療外来」が対応しています。

また、がんゲノム医療では健康保険の対象とならない薬剤の投与を提案されることがあり、医療費が高額になる場合があります。その治療は従来入院保険・がん保険ではカバーされない可能性があるため注意・準備が必要です。

問 市立長浜病院  
68・2300(代表)

「市民からのメッセージ」は、次回は令和6年8月号に掲載します。ご意見やお問い合わせは、ホームページや各庁舎に設置しているご意見箱からできます。

市民の皆さんの声をお聞かせください  
「市民からのメッセージ」

市民の皆さんの声を市政に反映し、暮らしやすいまちをつくるため、「市民からのメッセージ」を募集します。「広報ながはま」や市政に関する意見や提案をお聞かせください。

お寄せいただいたメッセージは、市民の皆さんと共有するため、市ホームページに掲載する場合があります。

<様式の使い方>

- ①切り取り線（破線）に沿って切り、中央の線に沿ってやま折りにします。
- ②のりしろにのりを付けて、貼り合わせてください。
- ③切手は貼らずに、そのままポストへ投函してください。

【問合せ】長浜市役所 広報報道課  
(電話65-6504/FAX65-4006)

料金受取人払郵便



差出有効期間  
2024年5月31日  
まで

切手を貼らずに  
お出し下さい。

やま折り

5 2 6-8 7 9 0

長浜市八幡東町632

長浜市役所 広報報道課

「市民からのメッセージ」係 行

のりしろ